



# 鎮守の森だより

NPO法人社叢学会ニュース

第124号

2023年7月7日

令和5年度年次総会を富士山本宮浅間大社で開催

## 富士山の実相を知り、満喫した2日間

川勝平太・静岡県知事が基調講演

令和5年度総会並びに研究発表、シンポジウムを、6月24日(土)に富士山本宮浅間大社(富士宮市)で開催した。25日には見学会を開催、今年も40人を超える会員が出席、富士山麓で霊峰の様々な姿を知り、味わう2日間となった。

総会では櫻井治男理事長の開会挨拶、甲田吉孝・富士山本宮浅間大社宮司から歓迎挨拶の後、塩谷崇之理事を議長に選出。正会員総数186名のうち、委任状を含む108名の出席を得て、まず、令和4年度事業報告・収支決算を賀来宏和理事が説明と監査報告を行った。さらに令和5年度事業計画・収支予算について、同じく賀来理事が説明、それぞれ審議承認した。また第5号議案：理事の新任の件では、櫻井理事長が関東担当理事として菅浩二・國學院大學教授を、中部担当理事として多賀顕・熱田神宮権宮司を選任することを提案、承認した。引き続き6号議案：定款変更の件では、櫻井理事長が、会議の招集につき、電子的方法(電子mail)での招集・評決を可能にするため、定款第5章「会議」の関連部分を変更することを提案、審議承認した。

引き続き行われた研究発表では、正会員の河井周氏、前迫ゆり副理事長、岡村穰理事が、それぞれの研究成果を発表した。

午後のシンポジウムでは、まず、川勝平太・静岡県知事が基調講演。御製に詠われた富士山を紹介しながら、富士山と天皇家の関わりを紹介した。パネルディスカッションでは、コーディネータに予定されていた森本幸裕副理事長が急遽不参となり、前迫副理事長が趣旨説明とパネリスト紹介をした後、パネリストがそれぞれ、富士山の自然環境、民俗、景観について発題、多彩な視点からの発表に活発な質疑が展開された。最後には池口仁・山梨県富士山研究所主任研究員が、SDGsの観点からこれまでの議論を総括、富士山のサステイナブルな発展の必要性についてまとめた。

翌日の見学会では、まず富士山本宮浅間大社を隈なく拝観、特に大社の宝物で、国指定重要文化財でもある「絹本著色富士曼荼羅図」のレプリカ(現物は静岡県立美術館へ寄託)を間近に拝見、細部に亘る説明を聞くことができた。

午後には富士講の遺跡、富士山の登山口となってきた村山浅間神社、浅間大社の最初の鎮座地で、社殿がなく古木・磐境を通して富士山を直接祀る古代祭祀の原初形態を残す山宮浅間神社を巡り、前日の議論の場を実際に訪れた。

### 今後の定例研究会開催予定

関東：10月21日(土) 新しい養蚕と産業化への取り組み 長島孝行・東京農業大学教授 秩父神社  
2月24日(土) 社叢見守り隊報告Ⅱ 講師：木村甫・社叢学会理事 國學院大學

福岡県：第10回宗像国際環境会議に参加 開催日：10月26日～28日

関西・中部：未定

★ 詳細は、決まり次第HPに掲載いたします。ご参照ください。

東日本大震災社叢復興支援事業報告書 8年間の全てを記録 頒価 3千円

第1号議案

令和4年度事業報告書  
(2022年4月1日～2023年3月31日)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所
通常総会の開催 関連事業の開催	総会審議・シンポジウム・研究発表会 見学会（三峯神社・秩父今宮神社参拝と武甲山資料館）	6月11日 6月12日	秩父神社 三峯神社等
理事会の開催（3回） 第67回 第68回 第69回  第70回	令和4年度総会開催 等 正副理事長の選任について 令和5度総会開催、理事の選任、定款変更、OECM 推進の取り組みについて 等 令和5年度総会運営 等	6月10日 6月23日 11月21日  3月20日	秩父神社社務所 社叢学会事務局 社叢学会事務局  社叢学会事務局
定例研究会の開催 関西 第89回 第90回  関東 第86回 中部 第38回 福岡県 第12回	御堂筋のイチョウ並木について 近江の社叢と文化的景観 ～比良山麓と奥永源寺の事例 から 全国各地のご神木から見えてくるもの 熱田神宮の社叢 第9回宗像国際環境会議に参加	10月 1日 11月26日  2月18日 2月6日 10月28日	伏見稲荷大社 賀茂御祖神社  國學院大學 熱田神宮 宗像大社
社叢保存活動	社叢見守り隊事業	通年	関東
会員証発行	会員約350名分	通年	会員へ郵送
会報発行（6回）	「鎮守の森だより」（A4判・4ページ）	奇数月初旬	会員へ郵送
会誌発行	『社叢学研究』（A4判・92ページ）	3月初旬	会員へ郵送
社叢インストラクター養成事業	社叢インストラクター養成セミナー 社叢インストラクター資格認定試験 社叢インストラクター資格認定と更新	11月26日・27日 11月27日 3月	賀茂御祖神社・伏見 稲荷大社 本部事務局
ホームページおよびSNSの運営	会員並びに一般市民に対するPR	通年	インターネット
広報・啓発活動	神社新報への連載の書籍化	2月17日	

第2号議案

令和4年度事業会計収支決算  
(2022年4月1日～2023年3月31日)

科目	金額		科目	金額	
I 収入の部			II 支出の部		
1 会費収入			1 事業費		
正会員会費	1,152,000		総会関係費	528,370	
市民会員会費	148,000		定例研究会費	40,000	
賛助会員会費	1,350,000		会報「鎮守の森だより」関係費	293,962	
協力会員会費	580,000	3,230,000	会誌『社叢学研究』関係費	379,000	
2 事業収入			社叢インストラクター養成事業費	11,450	
社叢インストラクター養成事業	50,000		社叢管理事業	33,000	1,285,782
社叢管理	38,500		2 管理費		
書籍販売	21,900		雑給	1,200,000	
総会関連事業	479,500	589,900	旅費交通費	96,000	
3 雑収入			通信費	142,450	
寄付金	335,000		地代家賃	924,000	
『社叢学研究』超過印刷料	30,000		租税公課	1,380	
受取利息	12	365,012	事務用品費	139,301	
			支払手数料	54,798	
			水道光熱費	6,343	2,564,272
			3 予備費 ※	117,040	117,040
当期収入合計(A)		4,184,912	当期支出合計(B)		3,967,094
当期収支差額(A)-(B)					217,818
前期繰越支出差額(C)					862,996
次期繰越収支差額(A)-(B)+(C)					1,080,814

※ 当学会理事が執筆し、神社新報社より出版された『そこが知りたい社叢学』を賛助会員・協力会員に寄贈するため購入した代金

第3号議案

令和5年度事業計画書  
(2023年4月1日～2024年3月31日)

事業名	事業内容実施	予定日等	実施予定場所等
通常総会の開催 関連事業の実施	年次総会・シンポジウム・研究発表 富士山本宮浅間大社等参拝と静岡県 富士山世界遺産センター見学	6月24日 6月25日	富士山本宮浅間大社 富士山本宮浅間大社 ・山宮浅間神社等
理事会の開催		3回程度	本部事務局等
定例研究会の開催 関西定例研究会 関東定例研究会 中部定例研究会 福岡県定例研究会	会員相互の研鑽、市民への啓発 会員相互の研鑽、市民への啓発 会員相互の研鑽、市民への啓発 会員相互の研鑽、市民への啓発	9月・11月・24年3月 4月・7月・10月・24年3月 1回程度 1回程度	伏見稲荷大社 他 國學院大学 他 中部地方の社叢等 太宰府天満宮等
社叢保存活動	社叢見守り隊事業	通年	全国
会員証発行	令和5年度会員証(希望者のみ)	5月～	会員へ郵送
会報発行(6回)	「鎮守の森だより」:情報と研究会報告	奇数月初旬	会員へ郵送
会誌発行	『社叢学研究』研究論文と情報	2020年3月	会員へ郵送
社叢インストラクター 養成事業	社叢インストラクター養成セミナー等の開催 社叢インストラクター資格検定試験の実施 社叢インストラクターの運営	7月～11月 セミナー最終日	
ホームページおよびSNSの運営	会員並びに一般市民に対するPR	通年	インターネット

第4号議案

令和5年度収支予算書  
(2023年4月1日～2024年3月31日)

科 目	金 額		科 目	金 額	
I 収入の部			II 支出の部		
1 会費収入			1 事業費		
正会員会費	1,140,000		総会関係費	900,000	
市民会員会費	140,000		定例研究会費	100,000	
賛助会員会費	1,350,000		「鎮守の森だより」関係費	300,000	
協力会員会費	580,000	3,210,000	『社叢学研究』関係費	400,000	
			社叢インストラクター養成事業費	30,000	
			社叢管理事業	3,000	
2 事業収入					1,733,000
社叢インストラクター養成事業	25,000		2 管理費		
資格検定料・認定料	5,000		雑給	1,200,000	
養成セミナー等参加料	20,000		旅費交通費	100,000	
書籍販売	15,000		通信費	120,000	
総会関連事業参加費等	900,000	940,000	地代家賃	924,000	
			租税公課	3,000	
			事務用品費	70,000	
			支払手数料	60,000	
			水道光熱費	7,000	
			理事会関係費	3,000	2,487,000
4 雑収入			3 予備費	0	0
寄付金等	70,000				
利息	10	70,010			
当期収入合計(A)		4,220,010	当期支出合計(B)		4,220,000
当期収支出差額(A)－(B)					10
前期繰越支出差額(C)					1,080,814
次期繰越収支差額(A)－(B)＋(C)					1,080,824

第5号議案 理事の選任の件 菅浩二・多賀頭

第6号議案 定款変更の件 会議の招集につき、電子的方法(電子mail)での招集・表決を可能にするため、「第5章 会議」の当該項目の当該文言に「又は電磁的方法(電子メール)」を追加する

報告事項 OECM推進への取り組みの件、『そこが知りたい社叢学 鎮守の森の過去・現在・未来』出版の件

その他 社叢インストラクター資格認定と更新の件

## 事務局から

- 今年の年次総会も対面開催することができました。霊峰富士は、2日間を通して残念ながら雲の間に隠れておりましたが、雨に祟られることもなく、いささか蒸し暑い中ではありましたが、懇親会でもさらに議論が交わされるなど、暑さに負けない参加者の皆さま方の熱気に溢れたものとなりました。

会場となりました富士山本宮浅間大社の境内には特別天然記念物に指定されている湧玉池が富士山の湧き水を満々と湛え、その清らかさに心洗われる思いがいたしました。

冬には毎日のように姿を見せるという富士山ですが、次は冬にぜひと思わせる、この特別な山が生み出す魅力を満喫し、古人の富士山詣への思いを実感した2日間となりました。

- 下記の通り、『社叢学研究』22号への投稿を募集しています。研究者の業績評価にもつながりますので、ぜひご投稿ください。論文には至らない準備段階の研究ノートや、短報、身近な活動、社叢の訪問記(紀行文)もお待ちしています。ぜひ、ご投稿下さい。

学術論文としての体裁を整えるための書き方や、引用文献、参考文献の扱い、記載の仕方については社叢学会のホームページに公開しています(<http://www.shasou.org/journal/format.pdf>)。お目通し下さい。

- 今年度から会員証はご希望の方にのみ発行いたしました。ご希望の節は、お手数ですが事務局にお知らせください。
- 渡辺弘之顧問の講演会が、7月15日(土)に京都府立植物園内の植物園会館で13時半から開催されます。テーマは「京都の鎮守の森 社叢」です。問い合わせ先：075-701-0595(木・土曜日13時～16時)

## 編集後記

おかしいなあ。。。今年は手配をお願いした旅行会社の社長さんが要所についてくれて、見学会には添乗もしてくれたのに。なんでやっぱり牧羊犬のように走りまわったんだろ～。解せないな～。てな疑問を残しつつも、無事、終了。ほっと一息！なわけではなく、帰ったとたんには会報は作らなきゃあだし、京都府に事業報告は出さなきゃあだし。

それにしても！ シンポのコーディネータが開催1週間を前に不在決定って。ひい！ どおするの！！

さすがに森本先生！ いつもならどんな話をするのん？ から 資料を出してね！ まだ、ぜえんぶ事務局(=フジオカ)が余儀なくされていたのだけれど、今回、事前の調整は、全て森本先生がやって下さった上(ってホントはそれが当たり前なだけけど)、不在の代替案を作り、それで進行できるように、各シンポジストに連絡して下さい。コーディネータのカガミやね。爾後の手本としていただきたい！ (藤岡 郁)

## 次回予告【第87回関東定例研究会】

- ◆日 時：7月29日(土) 14:00～
- ◆場 所：國學院大學渋谷キャンパス学術メディアセンター常盤松ホール
- ◆テマ：受け継がれる狂言の心
- ◆講師：三浦 裕子(武蔵野大学文学部教授)
- ◆上映：伝統文化記録映画第50作「野村万作から、萬斎、裕基へ」

## 掲 示 板

## 『原稿募集!』

『社叢学研究』第22号への投稿：論文、研究ノート、短報、資料紹介や調査報告(各400字詰原稿用紙40枚以内)と「鎮守の森の活動報告(祭、音楽会、調査、ワークショップなどの実施報告、抱える問題点など)」「社叢訪問記」(各1,200字程度)を募集いたします。締め切りは、論文等10月27日(月) 活動報告等12月22日(金) いずれも必着。

\* 書評欄では会員の皆さま方の著作を取り上げています。出版された方は、ぜひご献本下さい。

発行人 社叢学会事務局 〒604-8115 京都市中京区雁金町373番地みよいビル303号  
TEL・FAX 075-212-2973  
URL <http://www.shasou.org> E-Mail [shasou@ams.odn.ne.jp](mailto:shasou@ams.odn.ne.jp)  
社叢学会関東支部 〒368-0041 秩父市番場町1-1 秩父神社社務所内  
TEL080-1514-5032 E-Mail [shasougakkai@hotmail.com](mailto:shasougakkai@hotmail.com)